

平成 13 年 6 月 1 日

表彰委員長

石 黒 辰 吉

平成 12 年度表彰について

平成 12 年度の表彰を平成 13 年度の定期総会において行うこととし、機関誌「臭気の研究」（平成 12 年 9 月号）掲載により会員から表彰候補者推薦募集を行った。多数の推薦者の中から各賞選考部会における検討結果を受けて表彰委員会で審議し、以下のとおり各賞の候補者を決定した。（敬称略）

1. 功 勞 賞

功勞賞は、本会の会員であり、本会の発展に貢献若しくは臭気に関する分野において特に優れた功績を認められた個人に贈呈されるものである。

○ 早 坂 君 夫 氏

（社）臭気対策研究協会 前事務局長・前常務理事

（受賞理由）

平成 8 年 4 月に当協会事務局に着任以来、事務局長、常務理事として、事務局体制の強化、財政基盤の確保に努力されました。特に諸規程の整備や悪臭防止法に基づく臭気判定士制度推進に係る業務の遂行など協会運営に尽くされた功績は極めて大きいものがあり、これらは功勞賞に相応しいものである。

2. 学術賞

学術賞は、本会の会員であり、臭気に関する論文・著作等学術的研究成果が特に優れた個人に贈呈されるものである。

○ 高 原 康 光 氏

岐阜県保健環境研究所 環境科学部 主任専門研究員

（受賞理由）

昭和 51 年 4 月岐阜県公害研究所に入所以来、長年臭気問題と取り組んでこられました。県の地場産業である陶磁器・寒天・畜産等にかかる臭気の実態分析や評価と脱臭対策についての研究で著しい業績を挙げられました。これらの研究は学術賞に相応しいものである。

3. 技術賞

技術賞は、本会の正会員、公共会員および賛助会員である法人会員又はこれらに所属する個人又はグループで、臭気に関する調査研究又は臭気対策技術等に関して顕著な貢献があったと認められる者等に贈呈されるもので次の 3 社に決定した。（五十音順）

○ 株式会社 クボタ 取締役上下水エンジニアリング事業部長 清水 治

(受賞理由)

貴社が開発された充填塔式生物脱臭装置は、多孔質セラミック担体の研究の成果であり、下水道分野では多数の納入実績となっており併せてランニングコスト低減化とメンテナンス作業軽減化等は脱臭対策に多大な貢献をされました。

○ 小林製薬株式会社 代表取締役社長 小林 一 雅

(受賞理由)

貴社は長年にわたって、常に新しい消臭技術に取り組み家庭内の臭気対策のための消・脱臭剤や芳香剤を開発し、消・脱臭技術を一般家庭で手軽に利用できるよう工夫を重ねられた功績は顕著であり、快適な生活環境の向上に大いに貢献されました。

○ 東洋紡績株式会社 代表取締役 津 村 準 二

(受賞理由)

貴社は自社開発の高性能繊維状活性炭を利用して、高効率に脱臭と溶剤回収ができる「Kフィルター溶剤回収装置」を装置化して溶剤のリサイクル化の推進に努め脱臭対策に多大な貢献をされました。